

「世代を越えた輪をつくる」

学生団体が表敬訪問



4月3日、本市を活動拠点とし、高齢者のためのスマートフォン教室の開催など、ボランティア活動を行う学生団体「ふーぶ」が市長を表敬訪問しました。同団体は、昨年7月に現役高校生が立ち上げ、5月1日現在で県内の12の高校から51人の生徒が所属しています。スマートフォン教室などを通して多世代交流やデジタルデバйд(情報格差)の緩和、様々な世代の人が楽しく生きられる社会を作ることを目指して活動しており、これらの活動が複数の機関から評価されています。また、「のおがたSDGs推進パートナー」として、市と連携し、地域・社会課題の解決に向け持続可能な取組や活動の推進にも協力してくれています。

代表の渡辺美紀さんは、「昨年の7月から、たくさんの方々のおかげでここまでやってこれました。高校生の間にたくさんの社会経験を積むことができ、学校や世代を越えて人の輪を広げられる組織になれたのではないかと思います。今後もどんな人でも生きやすい社会に向けて活動に励んでいきます」と語りました。大塚市長は「学校を越えて高校生が自ら活躍の場を見出し、活動していることに感謝しています。今後の活動も応援しています」とエールを送りました。



今年も開催!

スマホのお悩みを一緒に解決しませんか?

夏のスマホ教室

- とき
8月4日(日)、7日(水)、10日(土)
午前10時～正午、午後1～3時
- ところ
のおがたベース(古町10-7)



- 申込方法
公式SNSまたはハガキ
下記内容を記載の上、お申込みください
①氏名 ②住所 ③年齢
④連絡先 ⑤お悩み内容
(宛先)〒822-0015
新町1-4-31みらいく“いろり”内
学生団体ふーぶ 行
- 申込期限
7月24日(水)必着

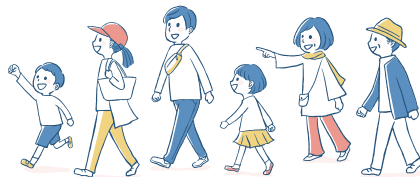
問い合わせ



同団体の評価の概要

- 高齢者を情報格差やサイバー犯罪などから守る取組に対し、直方警察署からの感謝状
- 国際ソロプチミスト福岡東リジョンより活動が評価され学生ボランティア賞を受賞
- 福岡県主催の「未来をつくる高校生チャレンジ2023」の応募30件の中から選ばれ、成果報告会に参加(選ばれたのは同団体を含め計9件)

ま ち の 話 題



表敬訪問 スノーボード 全国大会出場

3月25日、2月から3月にかけて岐阜県で開催された第42回JSBA全日本スノーボード選手権大会に出場し、U-15男子のストリートジャンプとスロープスタイルの2種目それぞれで、準優勝に輝いた直方第三中学校1年生(当時)小島琉惺さんが大塚市長と山本教育長を表敬訪問しました。

小島さんは「九州で大会に出場しているのは自分を含めて2人しかいません。九州でもやれるんだぞという気持ちで大会に望みました。結果を出すことができてよかったです。これからの目標は、より上位の大会で活躍して、一人でも多くの人にスノーボードを知ってもらいたいです」と話しました。

大塚市長は、「限られた練習環境というハンデのある中で、好成績を納められて大変感激しています。今後も頑張ってください」とエールを送りました。



表敬訪問 ジュニア オリンピック出場

4月3日、3月に東京都で開催された第46回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会に出場の直方第二中学校3年生の田代悠太さんと植木中学校1年生の和氣陽斗さんが大塚市長と山本教育長を表敬訪問しました。

2人とも大会で自己ベストを更新しており、田代さんは「中学最後の大会で決勝に残ります」、和氣さんは「100メートル背泳ぎでJOCに出ます」とそれぞれ今後の意気込みを語りました。

大塚市長は、「日頃の努力の結果だと思っています。今後も大会での活躍を祈っています」と激励しました。



人間文科コース 課題研究最終発表会

4月30日、鞍手高校で、市が抱える課題について研究した人間文科コースの生徒たちの課題研究発表会が開催されました。

市職員や県、大学職員が審査員として参加。口頭での発表は全て英語で行われ、7つの班がそれぞれの研究成果を発表し、競い合いました。

最優秀賞は、災害時の対応力や知識不足を課題とした研究「グローカーなキャンピングで他国との壁をなくそう」が選ばれました。受賞した班の登口芭名さんは「この課題研究で直方市の災害状況を深く知る機会になりました。6月には全国の高校が集まる発表会にも参加する予定です。1位を取ってきます」と意気込みを語りました。



河川敷おさんぽ講座 開催

5月9日、市庁舎8階で河川敷おさんぽ講座が開催されました。参加者は、講師の武友寛さんから正しい歩き方の指導を受けた後、河川敷に移動して、指導されたことを実践していました。

武友さんは、「年齢を重ねてくると身体を動かしているのといないのでは大きく健康に差が出てしまいます。一人でも多くの人に健康を保ってもらいたいです」と語りました。参加した人は、「普段から散歩をしています。やはり専門家の意見を取り入れながら歩くと、より充実感のある散歩になりますね。また参加します」と笑顔で話しました。

